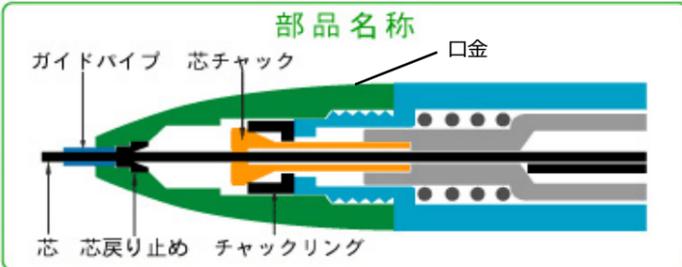
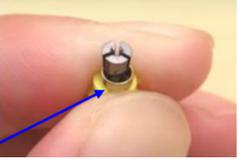


シャープペンシルの製品知識

2025年6月
日本筆記具工業会

シャープペンシルの種類	繰り出し機構	ノック式	ノック式2	回転式	複合商品
 <p>一般的なシャープペンシルの仕組み</p>	<p>シャープペンシルは、ノックボタンをノックするとペン先の芯チャックが開き、芯が繰り出される仕組みになっています。</p> 	<p>ノック操作を行うことによって、軸の内部に収納された芯が一定量ずつ繰り出される機構のもの。</p>	<p>ノック操作を行うことによって、軸の内部に収納された芯が自重で落下して出てくる機構のもの。</p>	<p>回転操作を行うことによって、軸の内部に収納された芯が出てくる機構のもの。</p>	<p>シャープペンシルとボールペンをひとつの軸に内蔵した多機能ペン。 後端ノック式、クリップスライドノック式</p>
<p>不具合発生例</p> 	<p>●書こうとすると芯が引っ込んでしまう。</p> <p>●ノックしても芯が出てこない。</p> <p>●芯が詰まったときはどうしたら良いですか？</p> <p>●芯が折れやすい。</p> <p>●芯もぐりに繋がる原因は？</p>	<p>通常、芯が短くなると芯チャックが芯を保持できなくなり、芯チャックから外れてしまいます。そのため、芯チャックから口金までの長さの芯が残ってしまい、書こうとすると芯が引っ込んでしまいます。この状態になりましたら、何度か下向きにノックしただけでは、残芯は予備芯によって押し出され、次の予備芯が先端に送られて出てきますので、手動で排除する必要はありません。口金を開けたり、細い棒などを通すと芯戻り止めが外れたり、別のトラブルが発生する可能性がありますので、ご注意ください</p> <p>①芯が入り過ぎていませんか。 芯を入れ過ぎますと、芯タンクの中で芯同士が競ってしまい動きにくくなり、芯が出てこなくなってしまう。0.5mm芯仕様のシャープペンシルの場合、芯タンクの中に補充する芯の本数は、普通のシャープの場合は2~3本が適量です。(多機能ペンは 補充芯は1本が適量です)</p> <p>②正しい太さの芯が入っていますか。 例えば0.5mmシャープペンシルに太さの違う芯を入れると、芯が抜け落ちたり詰まったりします。また、芯戻り止めがない場合でも芯が抜け落ちたりします。</p> <p>③芯詰まりの可能性があります。 口金内に、折れた短い芯が詰まっている場合があります。口金から芯などで押し出して除去してください。芯チャックのすきまに折れた芯が詰まっていることもあります。残芯はノックし続けることで予備芯によって押し出されるので手動で排除しなくても良いです。口金を開けたり、細い棒などを通すと芯戻り止めが外れたり、別のトラブルとなるのでご注意ください。</p> <p>④ガイドパイプが曲がったり、潰れたりしていませんか。 シャープ本体を落したり、先端部分に衝撃を加えますと、ガイドパイプが曲がったり潰れたりして、芯が出てこなくなり、修復が不可能となりますのでご注意ください。</p> <p>口金のガイドパイプ内や芯チャックの三つ割部分に折れた短い芯や芯の破片が詰まっている場合があります。 口金を外し、予備芯などで押し出して除去してください。 芯チャック部分に短い芯が残っている場合は、ノックボタンをノックした状態でチャックリングを下ろして (※1) 芯を除去してください。 その際、力を入れ過ぎますと芯チャックの故障に繋がりますので取り扱いにはご注意ください。</p>	<p>軸 クリップ 消しゴム</p> <p>芯タンク ノックボタン</p>	 <p>※1 チャックリングを下ろす</p>	
<p>よくあるご質問</p> 	<p>●ガイドパイプが曲がってしまったので、交換はできますか。</p> <p>●芯が止まらずに出てきてしまう</p> <p>●グリップが柔らかくなったり、べたついたり膨らんだりするのはなぜですか？</p> <p>●シャープペンシルの替え芯の種類を教えてください。</p>	<p>シャープペンシルを落としたり、衝撃を与えるとガイドパイプが曲がったり潰れたりして芯が出なくなることがあります。製品によっては部品のみ交換ができない場合もありますので、各メーカーに部品の交換が可能かどうかお問い合わせいただくことをお勧めいたします。</p> <p>芯が抜け落ちたり、芯が出すぎたり、芯が保持できない場合は、芯戻り止め部品の紛失又は劣化している可能性があります。新しい部品に交換する必要がある場合は、製品の取り扱い説明書やメーカーのホームページをご参照ください。製品によっては部品のみ交換ができない場合もございますので、各メーカーにお問い合わせいただくことをお勧めいたします。</p> <p>筆記具のグリップには、「シリコンなどのエラストマー」を多く使用しています。これらの素材は、無数の気泡が含まれているため握った際に適度な弾力と、長時間使用しても疲れにくいという特長があります。しかし、その気泡の中に手脂やご使用されているハンドクリーム等の溶剤が徐々に染み込むことでべたついたり膨らんだり、進行すると変形する場合もございます。これは「膨潤(ぼうじゅん)」という現象で、素材の性質上、ある程度避けられない現象です。</p>		<p>シャープペンシル芯の種類</p> 	<p>シャープペンシルの芯は0.3mm、0.5mm、0.7mm、0.9mmといった太さの種類ほかに、HBやBといった芯の濃さによる種類があります。細かい文字を書くために細い線を求める場合は細めの芯を、速記などは太めの芯を・・・など用途に合わせて使い分けてご使用ください。</p>
<p>使用上の注意点</p> 					<ul style="list-style-type: none"> 筆記描画以外に使用しないでください。電子機器などのリセットボタンを押したり、穴をあけたりすることに使用しますと、ガイドパイプの変形や芯が詰まる原因となります。 ガイドパイプはシャープペンシルの命といってもよいくらい大事な部分です。一度曲がってしまったら、元に戻すのは容易ではありませんのでご注意ください。 芯は、出し過ぎないことがポイントです。出し過ぎると、芯が折れやすくなってしまいます。 口金が緩むと芯折れにつながるので注意しましょう。 幼児の手の届くところに置かないでください。先端がとがっていますので、怪我の原因となります。 車のダッシュボードなど高温となる場所には放置しないでください。変形や、金属箇所はやけどの原因となります。 芯を補充する際は、ペン後端側のノックボタンを外して消しゴムを取ってから、芯を1本ずつ補充してください。(一部製品を除く) 芯詰まりが発生しやすいため、芯の補充はガイドパイプ側(ペン先側)から行わないでください。 ※多機能ペンの場合は、下軸を外していただき、シャープ部機構のみ引き抜き、芯を補充してください。(芯ホルダーは抜かないでください) (一部製品を除く) 芯を補充する際は、詰め過ぎないようにご注意ください(適正本数:2~3本)。詰め過ぎますと正常に芯が繰り出されなくなります。0.7mm芯、0.9mm芯の場合は適正本数は1本です。多機能ペンの場合は、芯タンクが細いため、適正補充本数は1本となります。 ポケットに入れるときは芯を格納してください。 ノックボタン・消しゴム・口金等の部品は口に入れないでください。
<p>お問い合わせ先</p> 	<p>会社名</p>			<p>ホームページアドレス</p>	
	<p>オート株式会社</p> <p>株式会社サクラクレパス</p> <p>シヤチハタ株式会社</p> <p>ステッドラー日本株式会社</p> <p>ゼブラ株式会社</p> <p>セーラー万年筆株式会社</p> <p>株式会社トンボ鉛筆</p> <p>株式会社パイロットコーポレーション</p> <p>プラチナ万年筆株式会社</p> <p>ぺんてる株式会社</p> <p>三菱鉛筆株式会社</p>			<p>https://ohto.co.jp</p> <p>https://www.craypas.co.jp</p> <p>https://www.shachihata.co.jp</p> <p>https://www.staedtler.jp</p> <p>https://www.zebra.co.jp</p> <p>https://sailor.co.jp</p> <p>https://www.tombow.com</p> <p>https://www.pilot.co.jp</p> <p>https://www.platinum-pen.co.jp</p> <p>https://www.pentel.co.jp</p> <p>https://www.mpuni.co.jp</p>	